

先駆けを！

夢の実現に向けて！

学校報

望 洋

東海大学付属市原望洋高等学校

編集：メディアセンター

2018年7月20日 第134号

総括 2018年度 1学期

第33回 入学式 4月5日（木）

～新入生 346 名を迎えて～



4月5日(木)、2018年度 第33回 入学式を本校松前記念講堂にて挙行了しました。当日は女子 103 名、男子 243 名、合わせて 346 名の新入生が新たに本校の門をくぐり、在校生、保護者、来賓、教職員からの祝福を受けました。



自分を高め、感動のある高校生活を！

菅谷 菜奈葉（入学宣誓者・市原市立五井中学校 出身）

2018年4月5日、私たち新入生 346 名は、東海大学付属市原望洋高等学校に夢と希望をもって入学しました。式場に入場する際には、多くの方々に迎えられて緊張が高まりましたが、担任の先生から呼名を受けた時には全員が覇気のある返事をすることができたと思います。私は、その後の新入生代表の宣誓をさせていただき、これから高校生活への思いを述べました。今、私は東海大学の建学の精神を繰り返し思い出し、「思想を培い、体躯を養い、知能を磨き、希望を星に繋ぎ」いで夢を叶えられるように、自分を高めていきたいと思っています。そして、明るく笑顔で感動のある高校生活をみんなで送りたいと思います。

望洋研修を実施（1年生）

4月18日(水)～20日(金)の日程で、2018年度 望洋研修を実施しました。この研修は1年生を対象に、宿泊研修を通して本校生徒としての自覚を促し、学校生活のあり方を考えると共に、集団生活の中から規律を守ることや協調性の大切さを学ぶものです。また、スポーツ活動などを通じてクラスの相互理解と親睦を図り、リーダーシップ精神を養って、今後の高校生活に生かします。その他、グループ討議を展開し、生徒個々の考察を深めました。1年生にとっては入学後初めての大きな行事です。最初のうちは緊張からぎこちない行動をとっていた生徒も、慣れるにしたがって集団生活を楽しんでいました。研修を終えて3か月が経過した今では、市原望洋高校の生徒としての自覚も育ってきているようです。



望洋研修を終えて

1学年主任 濱崎 雄作

最初の大きな学校行事である望洋研修を、4月18日から20日の3日間で行いました。バス内で、東海大学の創設者 松前重義博士の生涯をドラマ化した「名利なき証言」を見ながら、一路富士箱根ランドへ向かいました。研修所では、各教員の講話、高校生として今後の過ごし方を考えるグループ討議、クラス親睦やリーダー育成を目指した長縄跳び、歌唱練習など、生徒たちはどの研修に対しても真剣な眼差しで取り組みました。最終日には東海大学湘南キャンパスを見学し、大学の規模の大きさ、中学校や高校とは違う何かを感じ取ったことと思います。この3日間の「望洋研修」で得た経験を、これからの高校生活や社会生活で生かしてほしいと思います。

私たちは、2泊3日の望洋研修を終えて多くのことを学びました。まず、時間を考えて行動することの大切さです。学校生活ではもちろん、研修中はさらに気を付けて行動できたと思います。先輩方からは「キツイよ」と聞いていましたが、全く苦ではなく、逆に皆で何かをやりきることがとても楽しく、やりがいさえ感じました。「建学の歌」を学年全体の前で歌ったときも、最初はどうかかと不安でしたが、とても褒めていただき、うれしく思いました。長縄飛びでも、1位との差は大きかったですが、2位という成績を残すことができて、クラスの仲が深まったように感じました。これからも今回の経験を生かして、どんな壁でも乗り越えていきたいと思います。また、1年3組で良かったと思えるようなクラスを、46人全員で作りに上げていきたいです。

海外交流会を開催



4月16日(月)、台北市立明倫高級中学の生徒37名を迎え、海外交流会を開催しました。当日は歓迎会を皮切りに、本校吹奏楽部の演奏や明倫中学の合唱、明倫中学の生徒による中国語講座や両校の紹介プレゼンテーション、また茶室での茶道体験など、充実した国際交流の場を展開することができました。最後は全員が集まっての記念写真。異文化交流を図る、楽しいひと時となりました。

異文化交流会を通して

私たちは明倫高級中学校との交流会を行いました。一人ひとりバディを組み、お互いの学校を比較し合ったプレゼンテーションや中国語講座、日本の伝統文化である茶道、台湾では珍しいと聞くハンドベルの演奏などを体験しました。今回の交流会では、私たちは日本の文化を伝えることと同時に、台湾の文化についても知ることができました。コミュニケーションをとる際には言葉の壁にぶつかり、上手く伝えられずにもどかしさを感じた場面もありましたが、「伝えよう」という気持ちを大切に積極的に関わりかけました。言いたいことが伝わった時の喜びは例えようがありません。私は今でも、この時に知り合った一人の台湾の友だちと、連絡を取り合っています。これからも、異文化交流を通じて自分の視野を広げていきたいと思っています。

校外学習「鎌倉」を実施（2年生）



4月18日(水)、1年生の望洋研修に合わせて2年生は校外学習「鎌倉」を実施しました。2年生も新年度を迎え、新たなクラスとなりました。そこでクラスの親睦と、来年3月に予定している沖縄研修旅行での班行動の練習を兼ねて、鎌倉から長谷地域に散らばる文化財や旧跡を訪ねて散策を行いました。当日は北鎌倉駅前の円覚寺境内に集合。円覚寺を見学した後、グループごとに事前に立てた計画に従って、古都鎌倉を巡り歩きました。

互いの距離を縮めた鎌倉散策

当日の朝は、生憎の雨模様でした。しかし、皆が集合時間に遅れることもなく、順調にスタートを切ることができました。今年度は3月に研修旅行があります。時間を守るという意識は継続していきたいと感じました。集合場所の円覚寺をスタート地点として、各班の行動計画に沿って様々な場所を見学しました。多くの班が名所である鎌倉大仏や銭洗弁天をはじめとした点在する寺院を巡り、鎌倉の歴史と文化と、そして自然を満喫しました。また、小町通りを散策したり、一緒に食事をしたりすることによって、同じ班のメンバーとの距離を縮められたと感じました。校外学習で得られた仲間との関係を大切にして、学校生活を送りたいと思います。



校外学習「江戸・東京」を実施（3年生）

4月18日(水)、3年生は校外学習「江戸・東京」を実施しました。新年度を迎え、新たなクラスとなった生徒たちがクラスの親睦を兼ねて、主に江東区・墨田区・台東区に散らばる文化財や名所を訪ねて散策を行いました。当日は両国駅前の江戸東京博物館前に集合。博物館内の常設展を見学した後、グループごとに事前に立てた計画に従って、東京の町を巡り歩きました。



校外学習で学んだこと

3年1組 那須 萌加

4月18日、3年生になって初めての行事である校外学習が実施されました。両国の江戸東京博物館では、展示物の精巧な模型を見ながら江戸・東京の歴史を楽しく学んでいる仲間たちの姿を多く見かけました。展示物を眺めていると、現代の生活の中で使われている物は、昔の物と比べると、性能も機能も良くなって、便利な物ばかりなんだと改めて感じました。江戸東京博物館の見学を終えると、私たちは各クラス班に分かれて、事前に計画をしておいた見学地へ向けて出発しました。朝から雨が降っていて、移動するのはとても大変でしたが、どの班もルートを無事に回り終えることができ、多くの体験を通して多くの知識を身につけることができました。今年はすべての行事が高校生活最後の行事となります。クラスの仲間だけでなく、学年の皆が協力して、良い思い出づくりをしていきたいと思います。

いのちの大切さを学ぶ講演会を開催（1年生）



4月23日(月)、生徒指導講話の一環として、ジェントルハートプロジェクトの小森美登里氏を迎え、講演会「命の大切さを学ぶ～やさしい心が一番大切だよ～」を開催しました。この講演を通して、人権の問題を捉え、人の命について考えました。

いのちの大切さ

1年4組 千田 愛香

私たちが生きているのは、いのちがあるからです。世の中に幼いのちを落とす人はたくさんいます。その原因の一つはいじめです。いじめにより自殺した人たちは、本当はもっと生きて、幸せな生活を送りたかったはずですが、でも、自由に生きる権利やいのちを奪われてしまったのです。「優しい心が一番大切だよ」という言葉を講演で学びました。人は一人では生きていけません。両親をはじめ色々な人たちのおかげで、生きることができています。これからたくさんの人にお世話になると思います。感謝の気持ち、いのちを大切にしていきたいと思います。私は講演を聞いて改めていのちの大切さを学びました。いのちがあるからこそ、色々な人にめぐり会え、楽しい日々を送ることができています。いのちの大切さをみんなに知ってもらえるように身近の人にも伝えたいと思いました。

第33回 体育祭を開催

6月1日(金)、第33回 体育祭を開催しました。今年度は天候にも恵まれ、運動するのにちょうど良い気候にでした。各クラスの入場行進の後、開会式、準備運動。1年生によるむかでレースを皮切りに各競技は順調に進み、毎年の体育祭で一番盛り上がるクラス対抗リレーを終えて、午前の部は終了しました。午後の部は1年生による Jumping Beans（大縄跳び）、2年生による増脚リレー、3年生による綱引きと進み、クラス選抜リレーを最後に、すべての競技を無事終えました。3年生にとっては高校生活最後の体育祭。どの競技も熱戦を繰り広げました。



2 学年 総合優勝

2 年 6 組 根本 悠喜

6 月 1 日に行われた体育祭。我々 2 年 6 組は練習の段階から一人ひとりの意識が高く、やる気が満ち溢れていました。このやる気を持続させ、ベストの状態のまま、当日を迎えることができました。ここに総合優勝するための、勝因があったのだと思います。自分が出場する競技ではない空き時間は、出場している仲間を全力で応援し、自分が出場する競技の時は全力で取り組む。この雰囲気が私たち 2 年 6 組の良さであり、自慢できるところだと思います。担任の加藤先生を優勝に導けたこと、自分たちの手で優勝を掴んだことが、私たちの誇りです。これからも 2 年 6 組は、何ごとに対しても全力で取り組んでいきたいと思います。そして、クラスとしての一体感に、さらなる“磨き”をかけていきたいと思います。

(1 学年総合優勝は 5 組、3 学年総合優勝は 2 組でした。)

知的財産講座「文具王から学ぶ発明のヒント」を開催 (2 年生)



6 月 7 日(木)、知的財産教育の一環として「文具王から学ぶ発明のヒント」を開催しました。当日は、かつてのテレビ番組「TV チャンピオン」で「文具王」に輝いた高畑正幸氏を招き、文具商品企画の苦労話や新たな商品を生み出す発想の方法などについて、笑いを交えながら熱く語っていただきました。

知的財産講座を聞いて

2 年 2 組 山内 大輔

今回の講演を聞いて、私は「自分の好きなことをして生きていけるというのは、こんなにも素晴らしいことなんだ」と思いました。また、「文具王」の文具に寄せる熱い思いが伝わってきて、とても感動しました。幼い頃から文房具に興味があって、文具研究のためのノートにも工夫の跡が随所に見られる点は、流石だと思いました。そして、その積み重ねが、後の「TV チャンピオン 全国文房具通選手権」での 3 度にわたる優勝に繋がったと考えると、「尊敬」以外の言葉が見つかりません。私も将来は、自分の好きなことで生きていく人生を歩みたいと思います。今回の講演では、文房具開発の裏話や商品開発のための発想法など、貴重な話を聞くこともできました。私たちはこの後、アイデア商品の開発に挑みます。今日の講演を、その取り組みに活かしていきたいと思います。

芸術鑑賞会を実施 (1 年生・2 年生)



6 月 13 日(水)と 14 日(金)の両日、2 年生と 1 年生が芸術鑑賞会に参加しました。2 年生は日生劇場で上演されたモーツァルト原作のオペラ「魔笛」を、1 年生は国立劇場で行われた「6 月歌舞伎鑑賞教室、歌舞伎のみかた・連獅子」を鑑賞しました。

オペラ「魔笛」を鑑賞して

2 年 3 組 内海 穂乃花

芸術鑑賞会でオペラ「魔笛」を見たことは、私にとって良い経験となりました。始まったばかりの頃はあまり関心がなかったのですが、見ているうちに面白くなってきて、オペラの舞台に引き込まれる自分を感じていました。歌を歌っている時も、セリフを語っている時も、声量があって、迫力があって、オペラ歌手の実力に驚きました。イタリア語で歌われているところは理解するのに苦労しましたが、今回のオペラには日本語で語る場面もあって、とても理解が進みました。ストーリーも楽しむことができ、オペラの印象が変わりました。また、オーケストラピットがよく見える座席で見ることができたのは、とても幸せでした。機会があれば、また鑑賞したいと思います。

歌舞伎鑑賞教室に参加して

1 年 6 組 山根 志偶馬

私は初めて劇場で歌舞伎を見ました。国立劇場はとても広くて驚きました。歌舞伎役者の動きに合わせて「ツケ打ち」という効果音が鳴り響き、歌舞伎の雰囲気を盛り上げていましたし、花道では役者が観客の間近に迫ってきて迫力を感じました。「歌舞伎のみかた」では、初心者でも歌舞伎が楽しめる工夫が盛り込まれていて、その次に演じられた「連獅子」鑑賞に繋がりました。「連獅子」はイヤホンガイドの助けを借りて、しっかりと内容を理解しました。初めての歌舞伎は、驚きと感動で一杯でした。